

国 語

「 古 典 」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。 2 言語文化や伝統についての関心を深め、進んで古典に親しむ態度を育てる。 3 古典に親しむことによってももの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『030高等学校古典古文編 改訂版』『031高等学校古典漢文編 改訂版』（三省堂）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	一 説話 安養の尼の小袖 老いを養ふ国 文字一つの返し	1 1 1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・説話のおもしろさを味わい、人物の行動の意味を考える。 ・話の展開のおもしろさをつかみ、主題を理解する。 ・和歌の技巧を学び、それが説話のおもしろさにつながることを知る。 	古語辞典の活用。	第 1 学 期 中 間 考 査
	一 小話 季札剣を挂く 管鮑の交はり 食指動く 饅頭を畏る	1 1 1 1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な漢文を繰り返し読み、訓読を習得する。 ・書き下し文の書き方を習得する。 	漢和辞典の活用。	
第 1 学 期	二 随筆 枕草子 春はあけぼの／うつくしきもの／すさまじきもの／雪のいと高う降りたるを 方丈記 ゆく河の流れ／養和の飢饉／日野山の閑居	5 5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・宮廷の女房によって書かれた随筆を読み、筆者の美意識や人間観察の特徴を知る。 ・随筆独得の文体に慣れ、味わう。 		第 1 学 期 期 末 考 査
	二 漢詩 近体詩 鹿柴／江雪／早発白帝城／従軍行／楓橋夜泊／春夜／過香積寺／登高／左遷至藍關示姪孫湘／八月十五日夜禁中獨直對月憶元九／遊山西村	8	7	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し朗読をして、近体詩の持つリズムを楽しむ。 ・それぞれの詩に表現されている情景や心情を読み取る。 ・近体詩の形式を理解し、さまざまな表現技法を味わう。 		
【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート（各単元2枚程度） ② 授業で作成した鑑賞文 ③ 相互評価カード ④ 授業ノート						
【第1学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、定期考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第 2 学 期	三 物語 (一) 竹取物語 かぐや姫の昇天 伊勢物語 月やあらぬ/梓弓	2	9	・伝奇物語のおもしろさを味わい、登場人物の言動や心の動きを読み取る。 ・人物の心の動きを理解し、それぞれの歌に込められた思いを味わう。	インターネットや図書館の活用。	第2学期中間考査
	四 伝承 古事記 倭建の東征	2		・上代の人々の虚飾のない心情を読み取り、日本の古代神話への理解と文学史、文化史への関心を持つ。		
	三 文章 (一) 桃花源記	3	10	・桃源郷の状況と、そこに到達できる人間の条件とを理解する。		
	漁父辞	2		・屈原と漁父とのやりとりを追い、それぞれの考え方を理解する。 ・屈原の当時おかれた状況を調べ、それがこの作品にどう反映しているかを読み取る。 ・美文調の文章を味わいながら、当時の美意識や作者の人生観を把握する。		
五 日記 更級日記 あこがれ/源氏の五十余巻	3	11	・作者にとって「物語」とはどのような存在であったか、少女時代の心を読み取る。 ・平安時代の人々にとって「日記」とはどのようなものであったかを調べ、理解する。	インターネットや図書館の活用。	第2学期期末考査	
六 物語 (二) 源氏物語 桐壺/若紫	2		・我が国の古典文学の代表作を読み味わい、『源氏物語』への興味・関心を高める。 ・物語の中の複雑な人間関係を把握する。 ・平安時代の習俗や風習について調べる。			
四 史伝 「史記」の世界 鴻門之会/四面楚歌/烏江亭	10	12	・劇的な場面を味わいながら、項王の衰運の兆しを的確にとらえる。 ・武人項羽と人間項羽の二面にわたる人間像を理解するとともに、歴史の流れやその転換のありさまを熟視する。	世界史との関連		
【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート (各単元2枚程度) ② 相互評価カード ③ 授業ノート						
【第2学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、定期考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第 3 学 期	大鏡 雲林院の菩提講/花山院の出家/肝試し	4	1	・敬語や助詞の使われ方に注目して人物関係を理解する。 ・さまざまな人物の行動をとらえ、歴史を動かす力について考える。	日本史との関連	第3学期期末考査
	七 和歌・俳諧 和歌十六首	2		・それぞれの歌に詠まれた情景や心情を味わう。		
	古今和歌集仮名序	1	2	・修辞や文法を理解し、正確に解釈する。 ・和歌の本質や歴史について述べられた内容を理解する。		
	近世俳句 野ざらし紀行 北寿老仙をいたむ	1		・それぞれの俳句に詠まれた情景や心情を味わう。 ・俳文の特徴を理解し、作者の心情を理解する。		
	上総の老女	1		・形式に注意しながら、友人の死を悼む作者の心情を読み味わう。 ・表現の特色を把握し、老女の言動、筆者の批評について考える。		
五 思想 儒家・道家の思想 論語/孟子/老子/荘子	7	3	・孔子・孟子・老子・荘子のそれぞれの人間観・政治観について理解する。 ・古代中国の思想の中に、現代においても通用するもの見方や考え方を見出す。			
【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート (各単元2枚程度) ② 授業で作成した鑑賞文 ③ 相互評価カード ④ 授業ノート						

【第3学期の評価方法】

- ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、定期考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、分からない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をしてください。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めてください。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・古典の文章や作品の内容を、構成や展開に即して的確にとらえようとしているか。 ・古典の文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしているか。 ・古典の文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しもうとしているか。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
<p>話す・聞く能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文の調子などを味わいながら、音読、朗読、暗唱をしているか。 ・古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて話し合っているか。 ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・話し方や言葉遣い、文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告・話し合いなどの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
<p>書く能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読んで関心をもったことなどについて調べ、文章にまとめているか。 ・古典の文章や作品を読み、言語感覚を豊かにしようとしているか。 ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について学習したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な知識を積極的に身に付けようとしているか。 ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を辞書などを用いて調べ、理解しているか。 ・中国など外国の文化と我が国との関係について、理解を深めようとしているか。 ・漢文について、訓点を理解し、書き下し文を書くことができるか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業ノート ・提出された課題

国 語

「 古 典 」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。 2 言語文化や伝統についての関心を深め、進んで古典に親しむ態度を育てる。 3 古典に親しむことによってももの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『030高等学校古典古文編 改訂版』『031高等学校古典漢文編 改訂版』（三省堂）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	一 物語（一） 大和物語 安積山 堤中納言物語 虫めづる姫君	1 1	4	・和歌と物語の内容とのかかわりを把握し、人物の心情を理解する。 ・平安時代の風俗や精神のありようを理解し、虫めづる姫君の人物像をさぐる。 ・平安時代の習俗や風習について調べる。	インターネットや図書館の活用。	第 1 学 期 中 間 考 査
	二 随筆 枕草子 木の花は／中納言参り給ひて／二月つごもりごろに／五月ばかりなどに山里に歩く	4 5	5	・宮廷の女房によって書かれた随筆を読み、筆者の美意識や人間観察の特徴について理解を深める。 ・随筆独得の文体を味わう。		
	一 史伝 「三国志」の世界 乱世の姦雄／左右敢へて近づく者莫し／髀肉皆消ゆ／此の人就きて見るべし／当に刮目して相待つべし／進んで赤壁に遇ふ	5	5	・漢文の句法に注意し、正確に読む。 ・曹操・劉備・孫権が、それぞれどのような人物として描かれているかを考える。	世界史との関連	
	徒然草 さしたることなくて／世に語り伝ふること／世に従はん人は	3	6	・筆者の人生や自然観、美意識などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深める。		
三 日記 蜻蛉日記 うつろひたる菊／鷹和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中を	2 2	7	・筆者の夫・子どもに対する態度・行動を整理して、筆者の思いをとらえる。 ・帥宮と和泉式部の心情を、和歌を通じて読み味わう。 ・日記の文体に慣れ、味わう。		第 1 学 期 期 末 考 査	
二 漢詩 古体詩 桃夭／陟岵／上邪／勅勒歌／生年不満百／秋風辞／飲酒／把酒問月／兵車行	5	5	・近体詩と比較しながら、それぞれの詩がうたっている風景や感情をとらえる。 ・繰り返し音読し、比較的素朴で、自由な古体詩を味わう。			
【課題・提出物等】						
① 授業で使用したプリントやワークシート（各単元2枚程度） ② 授業ノート ③ 相互評価表						
【第1学期の評価方法】						
① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、定期考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第2学期	四 軍記 平家物語 俊寛／忠度の都落ち	4	9	・ここに描かれた人々の姿を通じ、『平家物語』の人生観や社会観について考え、語り物としての文章を味わう。		第2学期中間考査
	三 小説 人面桃花 杜子春伝	3 3		・当時の中国の恋愛観や死生観について考えを深める。 ・杜子春の生き方と、道士の考え方を理解する。 ・繰り返し音読し、小説の文体を味わう。		
	四 文章 赤壁賦 捕蛇者説	3 3	10	・繰り返し音読し、「賦」の技法を味わう。 ・各文章の要旨を段落ごとにまとめ、それぞれの文章が書かれた意図を話し合う。		
第2学期	五 物語（二） 源氏物語 須磨／御法／幻	5	11	・我が国の古典文学の代表作を読み味わい、『源氏物語』についての理解を深める。 ・光源氏と紫の上の関係や心情をとらえる。 ・平安時代の習俗や風習について調べる。	インターネットや図書館の活用。	第2学期期末考査
	●日本の漢詩文 近世 冬夜読書／泊天草洋 ／桂林荘雜詠示諸生 近代 送夏目漱石之伊予／ 題自画／航西日記	4	12	・繰り返し音読し、日本漢文独特の表現を味わう。 ・日本での漢詩・漢文の受容のされかたとその歴史を調べ、まとめる。 ・近代以降の漢詩・漢文のありかたを調べる。	インターネットや図書館の活用。	
	五 漢詩 長恨歌	4		・史実と詩的表現との違いを踏まえながら、物語の筋を正しく把握し、優れた表現をよく味わい、さらに日本文学への影響を理解する。		
【課題・提出物等】						
① 授業で使用したプリントやワークシート（各単元2枚程度） ② 授業で作成した感想文 ③ 授業ノート ④ 詩人に関するレポート						
【第2学期の評価方法】						
① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、定期考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第3学期	六 評論 毎月抄 正徹物語	1 1	1	・歌についての筆者の考え方を整理し、理解する。 ・定家と俊成の歌に対する筆者の批評や、それぞれの歌に込められた心情や歌様について考える。		第3学期期末考査
	去来抄	1		・それぞれの句について、どのような批評や評価がなされているかを読み取る。		
	風姿花伝	2		・能の稽古のあり方や能のおもしろさについての筆者の考え方を理解する。		
	源氏物語玉の小櫛	2	2	・筆者の述べる「『物語』を読む意義」について考える。		
第3学期	六 思想 儒家・諸子の思想 論語／孟子／莊子／ 荀子／墨子／韓非子 ／列子	5		・孔子・孟子・莊子・荀子・墨子・韓非子・列子のものの方や考え方について理解を深める。 ・古代中国の思想の中に、現代においても通用するものの方や考え方を見出す。		
	七 近世小説 西鶴諸国ばなし 大晦日は合はぬ算 用 雨月物語 浅茅が宿	2 2 2	3	・近世の小説のおもしろさを味わうとともに、人間の普遍的な姿がどうとらえられているかを考える。 ・登場人物の心情を理解し、伝奇小説独特の世界を味わう。		
	●芸能と表現 井筒	2		・役割を分担して謡曲を繰り返し朗読する。 ・能のビデオを鑑賞するなどして日本の古典芸能への理解を深める。 ・『伊勢物語』との関係を理解する。	・能のビデオの鑑賞。	

<p>【課題・提出物等】</p> <p>① 授業で使用したプリントやワークシート（各単元2枚程度）</p> <p>② 授業ノート</p>
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>① 提出物の評価と定期考査の成績、および学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。</p> <p>② 評価の内訳は、提出物の評価30%、定期考査の成績60%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。</p>

【年間の学習状況の評価方法】
「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、分からない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をしてください。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めてください。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・古典の文章や作品の内容を、構成や展開に即して的確にとらえようとしているか。 ・古典の文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしているか。 ・古典の文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しもうとしているか。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えているか。 ・日本漢文や漢詩文などを理解しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文の調子などを味わいながら、音読、朗読、暗唱をしているか。 ・古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて話し合っているか。 ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・話し方や言葉遣い、文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告・話し合いなどの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読んで関心をもったことなどについて調べ、文章にまとめているか。 ・古典の文章や作品を読み、言語感覚を豊かにしようとしているか。 ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について学習したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な知識を積極的に身に付けようとしているか。 ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を辞書などを用いて調べ、理解しているか。 ・中国など外国の文化と我が国との関係について、理解を深めようとしているか。 ・漢文について、訓点を理解し、書き下し文を書くことができるか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業ノート ・提出された課題